

若い女性「統廃合は去年で終りと思っていた」



6月23日、「県立高校の統廃合考える会」は、県内縦断行動を開始しました。この日は、明るい会の西山さん、高教組の杉原さん、彦根西高校の夏原さん、堀居さんが行動に参加しました。

宣伝は午後1時から、宣伝カーで彦根市内を回ります。「みなさん、根拠のない統廃合ではなく35人学級を進めましょう。」稲枝のフレンド마트前、

河瀬の日夏平和堂前、日夏ニュータウン2カ所、スーパー丸善の前、彦根翔陽高校周辺、彦根本町通り、彦根市役所前、彦根駅の9カ所で、延べ13回の演説。いろいろなりアクションがありました。集団下校する小学生が手を振ります。ビラの受け取りはよく、所々で、じっと話を聞く人の姿がありました。

就活中の男性が 演説を聞いて話しかけてくる

彦根駅前で、ある若い男性が10分間の演説をすべて聞いて、話が終わると署名しました。その彼が言います。「宣伝カーの核廃絶の文字はない方がいいです。せっかくの統廃合のことが薄まってしまいます」と、統廃合には関心ありの様子。「会社員の方ですか。」「いえ、就活中です。」「そうですか。また、よろしくお願ひします」。誠実そうで若い男性に徐々に遭遇し、こちら元気になりました。

若い女性「統廃合のことは去年で終りか思っていました。まだやるつもりなんですか。」

考える会「そうなんです。あきらめてないんです。もうじき具体的な学校名を含んだ計画が出てくるようです。でも、去年のように、みんなが声を出せば県も思うようにはならないと思います。多分、県教委が説明会を開きますので、参加されたらどうですか。」

彦根西高生2人が署名するかどうかが迷っていました。「学校面白いか」「うん、面白い」と言って署名。屈託がない。西高の雰囲気伝わってきました。

知事向けの署名
(ピンク色)続行中!
締切は7月5日(火)

駅前の宣伝・署名行動に参加を (18時～19時)

6月27日(月)湖北地域 長浜駅

28日(火)湖南・甲賀地域 草津駅

30日(木)八幡・東近江地域 八幡駅

私立高校生との討論も

駅前で座っていた数人の私立の高校生と真剣なやりとりがありました。

考える会「署名してくれないか。」

高校生「しない。」

これほどはっきり拒否されたことはない。何かある。

考える会「何でや。」

高校生「俺ら、高い金を払って、部活も一生懸命やっている。何もせんと、授業料はタダで、公立はつぶしたらいい。」

考える会「...うん。だからいま僕らの組合も、国が私学にもっとお金を出せとの運動をしている。公立に合わせて私学に少しだけ出ようになった。」

でも、この高校生は、普段の思いが溜まっているようでした。

高校生「他の人にしてもらって」

考える会「兄弟はいいないか。」

兄弟はいる様子でした。

考える会「結局、あんたの親が困ることになると思うけど、どうや、少し考えてから、

高校生「...他の人にしてもらって」

理屈は納得しても、気持ちついていけない様子。公立と私学、学校格差の問題が高校生の心に重くのしかかっている現実を突きつけられました。

連絡が徹底せず、参加者は4人でしたが、なかなか実りの多い宣伝行動になりました。

ストップ高校統廃合 2011年度速報第5号
2011/6/24 県立高校の統廃合を考える会